

今月の表紙
 子育て支援ひろば
ぬくもりに遊びに
 来た町子ども達です。
 お星寝アートは全て
 ぬくもりオリジナルで、
 発案から制作まで職員
 さんが手がけています。

町民の利便性向上へ！

令和6年度一般会計当初予算

総額55億1955万円 可決

ここに注目!! 今年の予算

議員の気になるポイントは？

きよらかアサ備品購入費

1460万円 (下城孔志郎議員)

Q 購入内容は。

A きよらかアサ(旧トイレ)にプレハブの冷凍冷蔵庫を設置する。内訳は冷蔵庫2台、



冷凍庫1台で約1100万円。ふるさと納税返礼品や地産地消の推進といった肉の販売に繋げていきたい。米の選別機は光で異物を選別するもので約360万円。

町長の施政方針

ここ数年の守り主体の行政運営から、攻めへ転じるような議論や事業を展開していく。

- 人材が重要。地方創生推進マネージャーの登用や地域活性化企業人制度の活用
- 子育て支援と広報営業プロジェクトチームの更なる推進
- 喫緊の課題となっている農林業政策への取組
- JA跡地開発への意見集約・合意形成
- 地域内でエネルギーを生み出す取組の推進や経済循環を高める取組

予防接種委託料

1839万円 (佐藤 毅議員)

Q コロナワクチンの今後の対応は。

A コロナワクチンの単価が決まっていない。体制が整いしだい協議を行っていきたい。带状疱疹ワクチンも同様で今後検討を進める。したがって、現時点での公費負担分の予算計上はおこなっていない。



起業型地域おこし協力隊支援

1320万円 (北里桂一議員)

Q 業務委託内容は。

A 現在4名。今年度に新たに2名が加わり6名となる。隊員が起業や新規事業をスムーズに行えるようサポート・バックアップ体制を整えるもの。委託先はSMO南小国。予算は全額国の特別交付税措置がある。



小国高校支援補助金

155万円

(井野和哉議員)

Q 120万円からの増額の理由は。

A 負担割合は小国町6：南小国町4。今年度から小国高校が地域みらい留学に取り組むもので全国から高校生を募集する。その説明会を東京・大阪で開催するための旅費等の増額88万円の4割。



移住定住関連予算

728万円

(森永一美議員)

Q 昨年度の移住・相談件数は。

A 来庁での相談件数は20件、東京・大阪・福岡等での相談会で59件（うちオンラインが19件）。移住件数は3年度が3件、4年度が2件、5年度が2件。コロナ禍もあけたので、相談会等に積極的に参加し、広報・周知に努めたい。



地域活性化起業人派遣負担金

1260万円

(穴井秀房議員)

Q 事業内容は。

A 日本郵政(株)とサントリーフーズ(株)からそれぞれ1名派遣される。前者には地域に根ざした郵便局だからできることや強みを活かしていただきたい。後者には農林業に関わることやふるさと納税の商品開発などを考えている。



管理センター解体工事

1億950万円

(後藤六男議員)

永 年にわたり、町民に親しまれてきた管理センターの解体は残念。当初説明を受けたときに比べて2000万円程度増額となっている。アスベスト除去費用の増額ということだが、資材や人件費の高騰等で更なる増額が懸念される。その場合は詳細な説明をお願いしたい。



瓜上矢田原線道路改良工事

7000万円

(井上則臣議長)

中 湯田赤迫線・瓜上矢田原線道路改良工事も令和7年度完了予定となっている。当路線は県道南小国上津江線を起点として、古賀地区と矢田原地区を結ぶ重要な生活道路である。全線開通により交通の安全、更なる利便性の向上・地場産業の発展を期待する。



自伐型林業普及推進業務委託

560万円

(穴井則之議員)

Q 業務委託内容は。

A 令和5年度から事業を実施しており、自伐型林業推進協会に委託。フォーラムの開催や実際に現地で伐採の方法や作業道の入れ方などのデモを行う。町内向けに情報発信して、普及に努めていきたい。



会計別 前年度との比較

一般・特別会計 前年度比較

会計名		令和6年度	令和5年度	前年比
一般会計		55億1955万円	47億2487万円	16.8%
特別会計	国民健康保険	5億8966万円	5億7866万円	1.9%
	後期高齢者医療	8062万円	7213万円	11.8%
	介護保険	6億6566万円	6億6361万円	0.3%
	計	13億3594万円	13億1440万円	1.6%
合計		68億5549万円	60億3927万円	13.5%

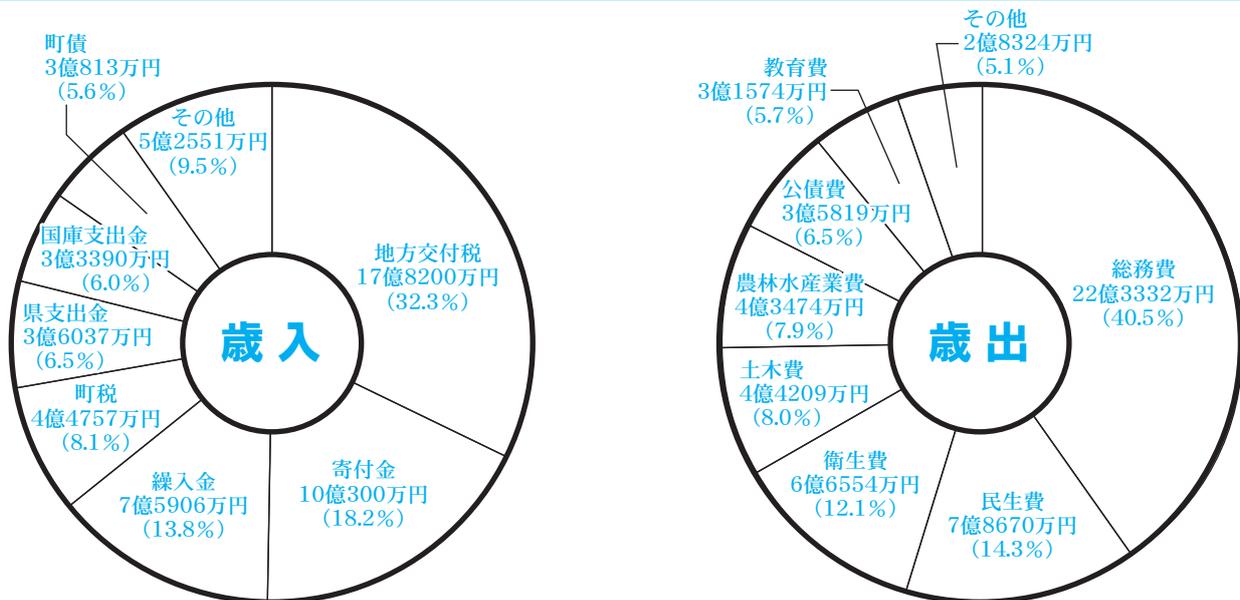
※令和5年度は町長、議会議員の改選期であったため、骨格予算でした
 ※表示単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合があります

公営企業会計 ※令和6年度から簡易水道・下水道事業は公営企業会計へ移行しました。

会計名		予算	会計名		予算
簡易水道 事業会計	事業収益	1億6254万円	下水道 事業会計	事業収益	1億5445万円
	事業費用	1億9267万円		事業費用	2億1628万円
	資本的収入	26万円		資本的収入	1億760万円
	資本的支出	4712万円		資本的支出	1億1214万円

- 事業収益：料金収入や他会計からの補助金など
- 事業費用：人件費や物件費、減価償却費、借り入れた企業債（借金）の利息など
- 資本的収入：事業を行うために借り入れる企業債（借金）など
- 資本的支出：建設改良費や企業債の返還元金など

令和6年度 一般会計内訳



令和5年度から6年度への繰越事業一覧

(一般会計)

LPガス使用世帯支援事業補助金	784万円	道路維持事業	1200万円
住民記録システム改修業務	574万円	町道瓜上矢田原線道路改良工事	3500万円
戸籍システム改修業務	804万円	道路改良事業	600万円
戸籍附票システム改修業務	581万円	道路メンテナンス事業	5885万円
グループホーム森園購入費	2786万円	道路舗装事業	1270万円
低所得者等給付金事業	2056万円	制服等購入業務委託	735万円
令和2年7月豪雨宅地復旧補助金	300万円	令和5年度発生 農地等災害復旧事業	1270万円
令和5年度 団体営農業農村整備事業	4563万円	令和5年度発生 公共土木施設災害復旧事業	7000万円
南小国町観光基本計画策定業務委託 他	519万円	普通河川小田川河川改修工事(災害関連)	9500万円
民間賃貸住宅確保プロジェクト補助金	922万円	応急災害復旧事業	690万円

※千円単位四捨五入

令和6年3月 第1回定例会

3月定例会が3月5日から11日の会期で開催。一般質問や町長施政方針のあと、条例の設置・一部改正・当初予算など（条例6・予算14・その他5）が審議され、すべて原案通り全会一致で可決された。

◆一般会計
●令和6年度当初予算

主な審議

- スクールバス運行委託料
- ▼井野議員 例年どおりの契約内容か。
- 【答】 金額は同額。内容は経費の高騰で社会科見学等の臨時運行分を見直し、通学分のみ。
- ▼佐藤議員 委託先の運転手不足等が懸念される。直営での検討は。
- 【答】 維持管理面を含め検討してみたい。
- きよら塾運営業務委託
- ▼佐藤議員 内容や利用者の負担は。
- 【答】 詳細についてはSMOと協議中だが、小学校中・高学年から中学生を対象と考えている。個人負担は求めない。

○安全安心な給食への取組

▼森永議員 先日、福岡県でうずらの卵が起因となり、小学1年生が亡くなるという事故があった。町の取組は。

【答】 除去するのは簡単だが、食育や食べ方の指導といった面に力を入れていきたい。

○市小グラウンド内通学路

▼穴井則之議員 雨や雪の時、グラウンドがぬかるんで登下校時に支障をきたしている。当初予算の計上は無いようだが。

【答】 児童の安全面や足元の清潔面が保たれるような対策を検討したい。

○農林関係補助金

▼井野議員 林業機械等導入事業補助金の増額理由は。

【答】 要望がある大型機械の対象件数を2件（200万円）増やした。

▼佐藤議員 ペレットストープ等購入補助金倍増の理由は。

【答】 本町がバイオマス産業都市に認定された。普及促進のため1件あたりの補助上限額を15万円から30万円に引き上げた。

※バイオマス産業都市とは

地域の特色を活かしたバイオマス（生物由来の再生可能な資源）産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指す地域。



認定証の授与式

▼佐藤議員 更なる需要拡大のために、ペレット燃料部分（生産者・使用者共）に対する補助の考えは。

【答】 今まで検討してこなかった。燃料についても生産者・使用者向けにも考えていく必要があると思う。

▼穴井秀房議員 経営発展支援事業補助金とは。

【答】 南小国町で新規に畜産業に携わる方2名に対する補助（一人あたり750万円、全額県からの補助）

▼穴井秀房議員 粗飼料活用事業補助金とは。

【答】 畜産業の発展と牧野の維持のため、肥育経営を行う5農家に採草する餌に対して補助を行っている。

○移動販売事業補助金

▼佐藤議員 前年度に対して売上は7割程度。売上増に向けて車両の大型化や日用品の扱いは。4月から日本郵政の方が赴任されるので、知恵をお借りしては。

【答】 改善に向けて協議を行っている。郵便局の活用について意見交換をしていく。



○有害鳥獣農作物被害対策

▼井野議員 事業内容は。

【答】 セミナーやセラル地区、捕獲者向けに出前講座の開催。夜間に動画撮影を行い生態等の把握を行いたい。

○タクシー利用費助成事業

▼佐藤議員 50枚使いきった方に対して、追加交付はできないか。

【答】 利用状況や平等性・公平性などを考慮しながら検討を進める。

▼森永議員 運転手不足が懸念される。ライドシェアへの参画は。

【答】 事業者の方には事業継

続に向けて努力いただいている。現在のところ検討していない。

※ライドシェアとは

一般のドライバーが自家用車を使って有料で人を送迎する取組。

○ロアッソ観戦車借上げ料

▼井野議員 事業内容は。

【答】 「ロアッソ熊本火の国」よりあげタイ！プロジェクトの一環。相互交流のための応援バスツアーを計画している。

○観光協会補助金

▼北里議員 例年1500万円の定額。茅葺きバス停や看板等の修繕の必要があり増額できないか。

【答】 協議の結果据置きとなった。バス停の老朽化は認識しており、協会と協議を行っていく。

○協力隊インターン事業

▼穴井秀房議員 事業内容は。

【答】 学生などの地域おこし協力隊の候補者を対象に、夏季休暇等を利用して南小国町での生活体験や職場体験を提供していく。

○地方創生推進マネージャー

▼北里議員 どのような位置づけになるのか。

答 前S.M.O最高執行責任者の安部氏を招き、民間から登用する地方創生特命監とともに地方創生を推進していただく。

○デジタル田園都市交付金
▼森永議員 デジタル化推進の起爆剤になるような予算措置を。

答 キャッシュレス決済の推進や健康ポイントの付与などを協議している。

○消防費
▼井野議員 消防団員報酬の減額理由は、

答 実数で計上。団員の減少によるもの。

▼井野議員 消防団員は日頃から、使命感をもって献身的に活動していただいている。実情にあった消防団の編成が必要と思う。幹部と協議しながらより良い消防団をつくりあげて欲しい。

◆国民健康保険特別会計

主な審議

▼穴井則之議員 高額療養費該当者数は、

答 月約20名。

◆介護保険特別会計

主な審議

▼井野議員 介護予防事業費減収の理由は、

答 コロナ禍により午前の

部の昼食提供を取りやめた。事業は午前・午後ともに変わらず継続する。

▼井野議員 介護認定者数は、

答 要支援①15名・要支援②21名・要介護①99名・要介護②59名・要介護③66名・要介護④38名・要介護⑤11名。(2月末現在)

▼井野議員 介護度が進まないような更なる取組をお願いしたい。

▼佐藤議員 地域包括支援センターの体制はどうなる。

答 社会福祉士・保健師・ケアマネージャーの3名体制を維持。

◆簡易水道事業会計

主な審議

▼穴井秀房議員 公営企業会計適用初年度から多くの補助金(繰入金)が充てられていて、今後の運営、料金値上げの考えは、

答 企業会計に移行したばかりで、根拠資料をお示しできない。まずは5年度の決算を確定する必要がある。

▼穴井秀房議員 資金が不足するのは間違いないと思うが、

答 水道は重要なインフラ

であり、多くの方が加入している状況でもある。町のサポートも必要と思うが、将来的には町民の負担増も考えられる。議会とも協議しながら進めていきたい。

◆下水道事業会計

主な審議

▼穴井秀房議員 一時借入金の手方は、

答 急な資金不足に対応するもの。起債や他会計補助金の利用を想定している。

※公営企業会計とは

事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を経理する会計。

●条例

◆部課設置条例の改正

※町民課内に子育て世帯を包括的に支援するための「こども家庭センター」を設置するもの。

主な審議

▼穴井秀房議員 センターの体制は、

答 センター長は町民課長が兼務。保健師と社会福祉士を1名ずつ配置する。

◆印鑑の登録及び証明に関する条例の改正

※自ら申請した場合、マイナンバーカードや運転免許証の提示で印鑑登録証明書

の交付が可能となる改正。

◆介護保険条例の改正

※介護保険料基準額が月額6400円から6800円へ引き上げられるもの。介護サービスに必要な費用をもとに基準額が決められ、3年ごとに見直される。

◆議会議員の請負の状況の公表に関する条例

※地方自治法の改正により、町に対する議員個人による請負が300万円まで可能となった。これに伴い南小国町議会では議会個人による請負の状況の透明性を確保するため、議員提案による条例を制定。

●令和5年度一般会計補正予算(第11号)

※歳入歳出それぞれ2億1918万円を減額し、総額61億8472万円とする。

主な審議

○地域おこし協力隊・起業人

▼森永議員 採用に至らなかった理由。減額の理由は、

答 家庭の事情によるもの。また育児休暇取得により減額となった。地域おこし起業人については応募がなかった。

○繰越明許費

▼穴井秀房議員 ①戸籍住

(万円)

一般会計 主な補正予算	
財政調整基金積立金	5024
防災対策基金積立金	1721
減債基金積立金	896
低所得者支援給付金事業	1100
小学校屋内運動場長寿命化改良工事	△ 9875
河川掘削工事	△ 1400
起業型地域おこし協力隊謝金	△ 732
移住支援金補助金	△ 600
予防接種委託料	△ 632

民基本台帳費関連、②低所得者等給付金事業、③観光基本計画策定の繰越理由は、

答 ①は法改正に係る国の仕様書の提示が遅れたため。

②は対象者の把握に係るシステム改修に不測の時間を要したが、4月には給付する。③はコロナ後のインバウンド等の動向や変化への対応、新たなデータ等の収集の必要性が生じたため。

●陳情

◆町道樋ノ口吉ノ本線に関する陳情

■提出者 樋ノ口組長 他

■内容 改良工事区間の延長など。

(委員会付託)

Q 学生等にお願いしては、町の広報活動！

A お互いメリット有り、検討していく



佐藤 毅 議員

問 町を離れる学生等に、広報PR大使として広報事業を委託しては。

町長 現状の情報発信、広報PRではまだまだ足りない。効果的な手法の一つ。町の魅力発信、イメージアップ等には幅広い広報活動は必要。SNS等での

問 役場庁舎ではない避難場所が必要では。

町長 備蓄倉庫等を備えた避難場所が必要。ペット避難や車中泊避難の場所の指定は。総務課長 指定場所はなし。検討していく。

Q 避難所・場所の現状は？

A より良くなるよう改善に取り組む

問 緊急避難場所へは何人の受入れが可能か。

町長 役場200人、中原小200人、りん小500人を予定している。

問 感染症の患者が発生したときの対応は。外国人の避難者対応は。

町民課長 発生確認の都度、感染拡大ならぬよう場所の確保を行う。

総務課長 外国人にはアプリ等を活用して対応する。

問 自主的な避難をされている方の把握方法は。

町長 役場だけでは難しい。自主防災組織内に、担当者を選定配置して頂きたい。

問 福祉避難所の受入れ現状と、前グループホーム森園の扱いは。

福祉課長 りんどう荘と悠清苑、各5人。福祉避難所としてお願いしたい。

問 各地区の公民館等は避難所として大丈夫か。耐震等の調査を行っているのか。

総務課長 毎年の会議で聞き取りを行っている。



下城孔志郎 議員

Q 大地震への備えについて？

A 防災計画に沿った対応を行っていく



防災倉庫 (役場)

福祉課長 今現在、町からの生活支援金の上乗せは設定されていない。災害に遭われた方は、車とか家とかいろいろな形で大変な目に遭う。今後は災害の規模にもよるが、考えていかねばと思う。

問 今回の能登半島地震から政府の生活再建支援金が、300万円から600万円になった。家が崩壊し車や生活用品等再建しようとするときには、この金額ではどうにもならないと考えられる。600万円に加えて300万円くらい、町からの支援金制度を創設できないか。

問 現在の備えについては。

町長 避難場所については、役場・元気プラザ・りんどうヶ丘小学校を開設する。備蓄品についても非常食9810食。その他衛生用品、調理用品等を避難所近くの防災倉庫に保管している。また、各自自主防災組織が運営する指定避難所も30箇所を設置予定としている。

問 現在の備えについては。



備蓄品の一部



穴井 秀房 議員

Q 今後の町の農林業への施策を問う！

A 早期に抜本的な対策が必要、公社の合意形成を図る



福島県池田町農業公社視察の様子

問 労働人口の減少が厳しくなる中、日本全体で賃上げがすすめられている。このままでは若者は都会に行き、農林業後継者はいなくなると思われる。早期に公社を設立し就業環境を整え、後継者を残す必要がある。町長からは様々な意見を聞き慎重に検討したいとの回答を得ているが、それではこの状態を打開することはできない。現在、主となる50歳代後半以降の農林業従事者がリタイヤする前に町長の強いリーダーシップで



福島県池田町農業公社視察の様子

事業展開を図る事が必要ではないか。

町長 現状の打開には抜本的な対策が必要。公社の設立について事業内容、人材の確保、拠点設置等それぞれに詰めていく必要がある。新年度予算で、昨年議員研修で訪れた福島県池田町農業公社関係者を講師とした講演会を開催し、公社に対する知識や情報を共有する。また設立するならば早いほうがいい、しっかりと合意形成を図る必要がある。

Q まちづくり懇談会の成果と課題は？

A 住民の皆様からの生の声を聞けたのが最大の成果



井野 和哉 議員

Q 診療報酬改定負担はどう変わる？

A 初診料は9～219円、再診料は6～360円の負担増

問 久しぶりに開催されたまちづくり懇談会であったが、今後も開催していくのが、

町長 今後は、参加人数を増やすことと多様な世代の皆さんが参加しやすい懇談会の開催を目指していく。

問 各地区ごとの課題や意見が出されたが、総じて遊休農地の問題とイノシシやシカの被害の対策というのが大きな課題だったと思うが、

町長 有害鳥獣の対策につ

問 医療費の改定について、町民向けに変更内容を通達する予定はあるのか。

町民課長 診療報酬改定は現時点では検討中。後期高齢者医療保険は、広報4月号で周知予定。

問 令和12年には、県内の国民健康保険料を統一する話もあるが、保険料の変更もあるのか。

町長 保険料に関しては激変緩和措置があり、基金も保有しているが、改定後の

いては、なかなか一つの自治体だけでは難しい部分もある。近隣の自治体とも協議しながら、広域的な対策をしていく必要があると思う。

問 中原地区では、保育園と小学校の今後についての質問があったが、

教育長 まずは福祉課と話をしながら、学校長や区長さんなど範囲を広くしながら、今後の対応、方向性を検討していく。

医療費の動向を見極めながら、今後議論していく必要があると考える。

問 訪問介護の報酬の変更もあるようだが、町内の介護医療は維持できるのか。

福祉課長 社会福祉協議会では5名のヘルパーさんが訪問介護等を行っているが、非常に厳しい現状である。町としてもいろいろと取り組んでいかなければと感じている。

Q 安定した職員採用を叶えるために改革と情報発信を！



森永 一美 議員

A 受験者の後押しができるよう情報発信していく

①副業解禁や男性の育児休暇取得など働き方改革が必要では。
②インターネットで南小国町役場の仕事や採用情報を検索しても募集要項しか見当たらない。南小国だから

①副業解禁や男性の育児休暇取得など働き方改革が必要では。
②「先輩職員の声」のような形で在職者のコメントをホームページに掲載し、受験者の後押しができるよう取り組んでいく。

Q がん治療中の方に寄り添った支援を！

A 先進地や医療機関にも話を聞き支援策を考えたい

問 日本人が一生のうちにがんと診断される確率は男性65%、女性51%。現在本町が注力している「予防する」「早期発見に繋げる」という取り組みに加え、今後は実際にがん罹患した後の寄り添った支援も必要では。治療と社会生活との両立を叶えるためにも、ピアランスケア（治療による外見変化に対応するケア）の補助制度を設けては。町長 医療用ウィッグの購入補助をしている自治体もある。先進地の現状を聞き、南小国町における住民に寄り添った支援は何か考えたい。町民課長 相談支援体制も大切。県指定がん診療連携拠点病院である阿蘇医療センターのスタッフの方々に話を伺い、住民に寄り添った支援を考えたい。

問 将来にわたり安定的に行政サービスを行うためには、役場職員さんの確保が必要。今後、労働人口が減少し、働き方や価値観が多様化する中で、採用難易度はますます上がると思われる。将来の採用のためにも今のうちから取り組むべきと考える2点について問う。

町長 ①多様な働き方ができるのは一つの魅力に繋がると思う。副業解禁について他自治体の取り組みを確認する。男性職員の育児休暇は、令和5年度までに3名が取得（対象者10名中）。引き続き育児休暇制度の周知と取得しやすい雰囲気醸成に努める。

Q 町営住宅の現状と老朽化した住宅の今後の予定は？



北里 桂一 議員

A 現状はほぼ100%稼働

問 本町の町営住宅173戸の入居者の現状と老朽化や危険区域にある使われていない住宅の今後の対応策は。農林課に移管された黒川地区の旧教職員住宅は、期間限定の貸し出しはできないか。

町長 入居状況についてはほぼ100%の稼働。老朽化や危険区域にある住宅の今後の対策は、入居者が退去した後、黒川団地は除去する方向、西黒川団地は用途廃止し除去するのか今後の検討課題と考える。



老朽化が進む黒川団地



農林業担い手住宅

また、農林課に移管した住宅は農林業担い手住宅として活用していく。

問 管轄を超えた期間限定の貸し出しや避難住宅としても活用できるトレーラーハウス等は考えられないか。

町長 担当課の目標とする町の施策に沿って施設を管理している。現在農林業担い手住宅は空いている状況なので、制度の見直し等も考えられる。トレーラーハウスのようなモバイル建築については、今後の導入の可否も含めて考えていく。

総務文教常任委員会

【民生委員・児童委員さんとの意見交換会、初開催】

本町では15名の民生委員・児童委員さんが、赤ちゃんから高齢者まで幅広い層の地域住民を見守り、困っておられる方がいたら専門機関へ繋ぐなど多岐に及ぶ活動をされています。1月16日に意見交換会をさせていただいた際には、活動に対して積極的でポジティブなご意見も多く、皆さんの活動に改めて感謝をした次第です。南小国に住むすべての方が安心して暮らせるためにも、民生委員・児童委員さんの活動に議会として出来る協力をしていきたいと思えます。



1月16日 意見交換会を初開催

【移住者向けの体験住宅ができました】

福一ラーメンさん裏にある県職員住宅を164万円で購入、その後1130万円で改修し、4月1日から「移住者向け暮らし体験住宅」として運用開始となりました。運用に先駆けて条例内容の審議、住宅内覧をさせていただきました。南小国に興味を持った方がミスマッチなく住み続けられるためにも、この住宅が積極的に活用されることを期待します。



町への移住相談が入居条件の1つ

棟数	間取り	家賃
4	3K	35,000

経済建設常任委員会

報告 委員長 穴井秀房

3月定例議会において付託されました旧中原トンネル前後の県道南小国上津江線の廃止に伴う町道路線への認定につきましては、今後も町道として認定し、管理していくことが必要との結果となりました。

これは県道の新トンネル設置の際の条件とされていたことや、現在も山林への出入りに使用されていることから必要な路線であると判断したものです。また、旧トンネルそのものは、町に道路を引き継ぎする前に県において埋設することとなっております。

※議案第12号「町道路線の認定について」提案理由の説明のあと、経済建設常任委員会に付託され、現地調査・委員会審議を経て委員長報告の通り全会一致で可決されました。



3月5日 中原側現地調査の様子

阿蘇広域行政事務組合議会

令和6年3月26日

令和6年度阿蘇広域行政事務組合一般会計予算

負担金名	組合計	南小国町
総務費	1億8424万円	1176万円
衛生費	13億4306万円	1億2430万円
消防費	10億6207万円	1億1642万円
計	25億8938万円	2億5248万円

負担金額



【小型オフロード消防車】

令和4年度事業にて総務省消防庁より無償配備されることが決定し、令和5年9月27日納車されました。その後、運用要綱の策定や機関員養成研修を行い、令和6年2月より運用開始しております。



令和6年 議会日誌

2月	3	第5回プレゼンテーション大会
	18	第47回南小国町駅伝大会
	19	地域福祉総合実践計画策定委員会
	21	阿蘇広域議会運営委員会
	22	県町村議長会第74回定期総会
	26	議会運営委員会
3月	29	子ども子育て会議
	1	熊本県立小国高等学校卒業式
	5~11	令和6年第1回定例会
	8	南小国中学校卒業式
	8	熊本県立小国支援学校卒業式
	12	議会広報調査対策特別委員会
	14	障がい者計画策定委員会
	15	男女共同参画計画策定委員会
	18	林業を考える会
	19	空家等対策協議会
	21	各小学校卒業式
	22	ケーブルテレビ放送番組審査会
	22	今後の農業を考える協議会
	26	阿蘇広域議会定例会
28	小国公立病院議会	
4月	9	小・中学校入学式
	9	阿蘇市町村議長会総会
	12	春の全国交通安全運動街頭指導
	17・25	議会広報調査対策特別委員会

小国郷公立病院組合議会

3月28日

令和6年第1回定例会が行われました。主な議案として令和6年度病院事業会計予算で運営の収益費用それぞれの総額17億7828万5000円の予算の議案が提出され、十分な審議の結果、可決承認されました。医療用画像情報システムの更新やMRI装置の入れ替え等、機器装置の最新化も図られているほか、移動診療車も新年度から小国郷内10カ所を巡回するよう計画されています。あわせて令和9年度までの小国郷公立病院経営強化プランの報告があり、経営強化や効率化等の取組みが紹介されました。



たくの ゆきひろ 宅野 幸広さん

赤ちゃんから高齢者までを見守る護り人
地域の一番身近な相談窓口“民生委員”会長



プロフィール

樋の口生まれ、脇戸在住。大学卒業後、南小国町役場に入庁し、定年まで38年間勤務。12年間の自治会長や少年補導員なども務める。令和5年12月に民生委員・児童委員（以降、民生委員）協議会の会長に就任。

…民生委員になられたキッカケを教えてください。

役場に長く勤めたこともあり、地域のために何かお手伝いができればとの思いで民生委員になりました。

民生委員の皆さんが「お世話になった方々に恩返しをしたい」「地域の役に立ちたい」とやる気に溢れた方ばかりで刺激をもらっています。

…民生委員さんは日頃どんな活動をされていますか？

地域の見守り役として必要な方々には定期的に訪問したり、困っている方がいらつしゃれば専門機関へ繋いだりしています。民生委員15名で、



民生委員・児童委員の皆さん
日々地域の見守り活動をしていただいている



青いジャンパーが
民生委員・児童委員さんの目印

町内の赤ちゃんから高齢の方まで幅広い層を見守っています。実際に活動をしてみて、民生委員は地域の方にとって一番身近な相談窓口であり、必要不可欠な存在だと感じています。

民生委員の皆さんが活動に対して「知り合いが増えて楽しい」「やりがいがある」「訪問時にありがとうをもらえて嬉しい」と口にしてもらっています。楽しみながら積極的に活動をしていくのが心強いです。

…今後注力したいことは何ですか？

民生委員の役割や仕事内容を一度棚卸して整理し、民生委員の皆さんが活動しやすい環境づくりをしていきたいと思っています。同時に、町民の方にも民生委員の活動を知っていただくように広報も注力したいと考えています。誰もが共生できる社会実現のためにも、これからも日々、地域を見守り続けていきます。

取材・撮影・文：森永一美

編集後記

この広報が皆様に届く頃はもう新緑の季節、新しい気持ちで門出を迎えられた皆様にお祝いを申し上げます。

毎年、桜の開花が早くなることを感じます。地球温暖化に伴う気候変動の影響でしょうか、今後どうなっていくのか心配です。

さて、4月16日より木村新知事の県政の舵取りが始まりました。前蒲島知事時代の副知事であり、熊本県の行政には詳しいとは思われますが、新しい知事には期待とともに、山積する難題の解決も求められています。若いパワーとバイタリティで、県民の負託に対して存分に力を発揮していただきたいと思えます。

南小国町でも新年度を迎え、コロナ禍からも少しずつ脱し元の生活に戻りつつあります。町長の施政方針にも「ここ数年の守り主体の行政運営から、攻めに転じる展開をしたい」との力強い言葉もありました。また、人事においても新しい人材の迎え入れもあり、議会も含めてともに南小国町の未来を見据えて頑張る所存です。

また議会広報では、町民の皆様と議会のつながりができますよう努力していきますので、よろしくお願いたします。(六井秀房)

発行責任者

議長 井上 則臣

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井野 和哉

委員 六井 秀房

委員 北里 桂一